

組合基本方針

◎組合の団結と調和 日本一の工業団地を目指す！

新年のご挨拶



流山工業団地協同組合 理事長 菊地 憲悦

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、組合事業にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの感染が2月に広まり4月には緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出や通勤、通学の自粛等により日本経済の動きが鈍化しました。それは日本のみならず、世界経済の動きも鈍化し、景況が悪化しました。

5月に緊急事態宣言が解除され経済も動き始め景気が上向きになりましたが、不安定な状況の中で、安倍総理大臣が体調不良により退任し、長期に渡っていた安倍政権より菅政権に移行しました。

そして、11月頃より新型コロナウイルス感染者数が増加し、再び景況が下向きになり景気は悪い一年となりました。

さて、本年2021年（令和3年）は昨年より延期された東京オリンピックが57年ぶりに開催されます。オリンピックの期間は、交通規制や警備強化などによる物流への影響が考えられます。また海外から来日する外国人の増加による新型コロナウイルス感染症の拡大が心配されます。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチンが開発され、接種が始まりましたが、それが完全な対策ではないため、感染拡大対策が必要となります。また治療薬の開発も途上段階あるため、収束の兆しが見えず、引き続き景況の悪化が懸念されます。

今後は、在宅によるリモートワークの促進、地球環境を考えた脱炭素社会への移行、高速デジタル化への加速等の環境の変化が注目されており、さらに中小製造業を取り巻く環境は厳しくなると考えられます。つきましては、本年も組合員の皆様方と団結を強固にし、対策、対応を行ってまいり所存ですのでご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と、ご多幸をご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

組合年度方針

組合ブランド力の情報発信

組合と新川耕地の経済と雇用の発展

新たな方法による共同事業の検討

新型コロナウイルス感染症に関するあらゆる対策と対応

新年ご挨拶

流山市長 井崎 義治

あけましておめでとうございます。

流山工業団地協同組合の皆様方には、輝かしい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年来の世界規模の新型コロナウイルス感染症の影響により、経済情勢は依然として大変厳しい状況が続いています。

新型コロナ禍への対応の中から、いわゆる「新しい生活様式」という、これまでの常識にはなかった社会の変化を見据えたビジネス対応が必要となっています。

著しく変化する社会情勢のもと、皆様方には、市内製造業のトップ集団として事業の発展・充実と地域経済の牽引にご尽力



いただいておりますことに深く敬意を表するとともに心から感謝申し上げる次第です。

さて、本市では、全国的に人口減少が続くなか、子育て世代を中心に人口は顕著に増加し、人口増加率は全国792市中4年連続でトップとなりました。いよいよ、今月にも人口が20万人に達する見込みとなっております。

未だ収束の兆しの見えない新型コロナ禍の中ではありますが、引き続き、市政発展のためにご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、流山工業団地協同組合のさらなるご発展と、組合員の皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



流山商工会議所 会頭 田口 佳子

新年あけましておめでとうございます。

流山工業団地組合の皆様には、会議所運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

一昨年11月に会頭に就任しましてより、コロナ感染が世界中に広がり、皆様と同じように対応に追われる日々でございます。会員の皆様への的確な情報の伝達、各種補助金、助成金への積極的な取り組み等進めて参りました。しかし、今現在も感染の広がりは続いております。日本商工会議所では、①ウィズコロナ、ポストコロナの世界に向けた事業

再構築②労働移動の円滑化③サプライチェーン④新しい働き方の課題を議事に上げ中小企業の変革支援へ向かっております。この新型コロナウイルスはたった半年でニューノーマルな時代、新常識の時代へと日本人の働き方を一変させたといえます。

職務、仕事の評価基準を年功序列から基本的成果で評価するいわゆるジョブ型への変換、労働の意義を問い直し、会社と個人関係を再構築し、多様な人材、多様な働き方が求められようとしております。新型コロナウイルスで先行き不透明な社会、この逆境の時間における在り方がこれからの事業の発展を左右していくと思われまます。

昨年10月、第二回流山商工会議所戦略委員会で、「流山新川耕地事業者情報連絡協議会を中心として、東洋一の物流とともに流山経済を考える」をテーマに開催しました。今年度も流山工業団地協同組合のご支援をいただき、新川耕地の発展と共に流山商工会議所のさらなる飛躍にご尽力を頂戴致し度よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴組合の益々のご発展をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

『RPA を活用した業務効率化・コスト削減』講習会

2020年10月15日、22日の2日間、流山工業団地組合会議室にて生産性向上支援訓練の一環として『RPA を活用した業務効率化・コスト削減』についての講習会が、中小企業診断士の香川大輔氏、斎藤宏樹氏の両氏を講師に迎え実施されました。

いま世間では RPA がちょっとしたブームになってきています。

生産性向上を実現する RPA (Robotics Process Automation) とはパソコンで実施する定型業務を、ソフトウェア型のロボットで代行する仕組みのことです。あくまでもソフトウェア型なので、人型ロボットや掃除ロボットのような躯体は無く、パソコンやサーバー上で動作し、マウスやキーボードの操作を再現して自動化を実現するシステムが『RPA (Robotics Process Automation)』ということでした。

年々日本の労働人口が少子高齢化により減少し続けるなか「事務作業の効率化や自動化」は時代の潮流であり、次々と人が扱う仕事は減り RPA の運用が不可欠になってきています。

ただし RPA 導入の心理的な障壁というのもあり、導入が進まないのも現状です。

① すぐにでも導入して、事務作業以外の他のことに時間を使いたい！

② 導入しないで欲しい。仕事なくなると、自分の居場所なくなるので。

このように「導入賛成派」と「導入反対派」の二極化が生まれ、RPA 導入の話が立ち消えてしまう中小企業も少なくないということでした。

今回 RPA を学ぶに辺り、とても前向きな名言を教えてくださいました。

『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である』ダーウィンの進化論で知られているチャールズ・ダーウィンの名言です。他にもビジネスでは破壊と創造を繰り返せない会社は、競争社会から取り残されていく。『スクラップ&ビルド』という言葉が知られています。古いものや考えは捨て、時代の変化に添った考え方を常に追い求めていくことを表現する言葉です。

変化を恐れてはいけなということでした。

今回の講習会を受講し、今後 RPA (Robotics Process Automation) の運用はとても不可欠であり、前向きに考えていかなければならないと感じた講習会でした。

マックスプル工業(株) 増田 裕香

<連携組織活性化研究会>

◆ 事業継続計画策定講習会 ◆

2020年10月2日(金)流山工業団地組合会館会議室にて、事継舎 代表 佐藤雅信氏を講師に迎え「事業継続計画策定講習会」が開催されました。

事業継続計画 (BCP) は 2011 年の東日本大震災が発生した後に盛んに取り上げられたこともあり、BCP=災害対策というイメージが強いと思われそうですが、今回佐藤氏からの講義では、災害対策はあくまで BCP の一要素であり、BCP は事業全体を見渡した上で不測の事態が発生した際に事業をどのように継続させるのか、将来のリスクに備える事業継続力の強化、経営力の向上を目指して取り組むべきとのことでした。特に現在のコロナ禍も事業を進める上で大きな課題となっており、これも BCP の対象として取り組むべきテーマであることも改めて認識しました。

講義で印象的だったのは、BCP 策定では職場の「脱」属人化が重要という視点でした。社内で業務の属人化が進んでいると、その唯一対応できる社員がたった一人出社不能になっただけで業務が停止し、事業全体に影響が出てしまうリスクが生じます。改めて社内を見渡してみると、こういった業務が意外と多いのではないのでしょうか。今回の講義では属人化業務の抽出手法についてもレクチャー頂きましたので、まずは BCP の第一歩として「属人化の解消」「業務の水平展開」を推進していきたいと思います。またこの取り組みが「後継者の育成」「事業承継」というテーマにも繋がっていくのではと感じました。

(株)ファンケル美健

事務局だより

訃報

当組合の3代目理事長でありました、株式会社マルタカ 代表取締役会長 高橋 啓治様が病氣療養をされていましたが、12月8日 80歳で逝去されました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

なお、故人を偲ぶ追悼号の団地ニュースにつきまして後日発刊をさせていただきます。

献血

献血を令和2年6月24日に臨時で実施し、12社 65名 実質59名

令和2年10月28日に実施し、10社 54名 実質47名

の方々にご協力をいただきました。

ご協力誠にありがとうございました。

次回は、2月を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の予定

1月 千葉県中小企業団体中央会 連携組織活性化研究会 開催

2月 献血

健康診断

5月 第35回通常総会

6月 献血

健康診断

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は4月初旬から約2ヶ月間、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令され、ソーシャルディスタンスや3密回避、外出制限や自粛、テレワーク・ZOOM 浸透・学校休業に伴う働き方の変化等々・・・、我々の生活様式にも大きな影響があったのではないのでしょうか。11月末現在、流山市内の感染者数は増加しております。残念ながら、前代未聞の戦いはまだ見通せない状況ではありますが、組合員の皆様と一緒に、この難局を乗り越え笑顔多き1年にしたいと思います。

(株) サンオー 大塚 英一

流山工業団地協同組合

編集・発行：におどり次世代会

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-46

☎ 04(7153)3001